

千歳市市民協働推進会議議事録

会議名	市民協働推進会議（第8期 第8回）		
日時	令和4年4月15日（金） 18:00～20:00	場所	市役所 第2庁舎2階 5・6会議室
出席者	委員：13人 事務局：2人（政策推進課長、市民協働推進係）		

議題	<p>(1) みんなで進める千歳のまちづくり条例の検証</p> <p>(2) ひと・まちづくり助成事業選考審査</p> <p>(3) 市民提案型協働事業選考審査</p> <p>(4) その他</p>
決定事項	<p>(2) ひと・まちづくり助成事業選考審査 事業名：「千歳音頭」の周知浸透を図る活動 補助金を交付すべき事業である旨市に報告する。なお、次の意見を附する。 ●減少する盆踊り参加者を拡大していくことや、千歳音頭の伝統継承・保存のため、子供たちも楽しめるよう、リズムを変えたバージョンを検討するなどの工夫を期待します。</p> <p>事業名：こどものマチ「Jr.Cihtose」 補助金を交付すべき事業である旨市に報告する。なお、次の意見を附する。 ●コロナ禍でのイベントのため、具体的な感染拡大防止計画を準備し、子供たちや保護者が安心してイベントに関われるような対策を講じてください。</p> <p>(3) 市民提案型協働事業選考審査 事業名：千歳市民ミュージカル開催事業 補助金を交付すべき事業である旨市に報告する。なお、次の意見を附する。 ●観客動員数の増やクラウドファンディングの実施など財源確保の手法を研究し、補助期間終了後の事業継続に期待します。 ●チケットが完売になり当日観覧できない方が多く出た場合は、YouTube 配信などの対応について検討願います。</p>

◎委員 ■事業申請者 □実施担当課 ○事務局 ●附帯意見

会議要旨	
(1) みんなで進める千歳のまちづくり条例の検証	第6期市民協働推進会議委員長を講師に招き、平成30年度に行った「条例見直しの必要性の検証」について、検証方法や答申までの流れ等の講話をいただいた。
(2) ひと・まちづくり助成事業選考審査	<p>【事業名】「千歳音頭」の周知浸透を図る活動</p> <p><質疑応答></p> <p>◎今回の事業はひと・まちづくり助成事業を活用した3回目の申請となるのか。</p> <p>■本事業は、平成30年度と令和元年度に実施し、コロナの影響で2年間休止となり、今年度が3回目の申請となる。</p> <p>◎なぜ市民納涼盆踊りで千歳音頭が使われないのか。</p>

■千歳音頭の踊りはその場で踊るようになっており、なかなか前に進まないという特徴がある。そのため、多くの市民が参加されてパレード式で行われる市民納涼盆踊りには、北海盆踊りが採用されているのではないと思われる。今回の事業では、踊りの先生方にご指導をいただきながら踊りを改良して、前に進むような踊りを作っていきたいと考えている。また、歌詞についても、将来的には、市民公募で今の時代に合った内容のものを新たに作るなど、伝承しながら、時代に合ったものに変化させていきたいと考えている。

◎北栄町内会の盆踊りでは千歳音頭が流れており、市内の各町内会でも少しずつ千歳音頭が流れる場面が増えていると思うが、今後も伝統継承、保存に努めていただきたい。

◎伝統を継承していくには、子供たちに知ってもらうことが大切だと考える。

■そのことについては役員会でも話し合っており、今後は教育委員会や各小学校にお願いして、道徳的な勉強会として千歳音頭を伝える場を作っていきたいと考えている。

【事業名】こどものマチ「Jr. Chitose」

< 質疑応答 >

◎来年、再来年も実施していくのか。また、今後の財源はどのように考えているのか。

■来年もひと・まちづくり助成事業を活用して実施したいと考えており、経費削減として今回使用する入場許可証やフライヤーなどのデザインを今後継続して使用することを考えている。また、協賛金をいただけるよう、市内事業者に働きかけをしていきたいと考えている。

◎対象が小学3、4年生となっている理由はなにか。

■文科省の学生指導要領に、探求心を追及する教育は、3年生から6年生までに行うという記載があり、より早い時期に体験していただきたいという思いから、今回は3、4年生を対象とした。また、今回参加する3、4年生が5、6年生になったときに、今度は会場スタッフ等のボランティアとして、学びの場を提供する側の立場で参加していただきたいと考えている。

◎イベントの時間帯や参加者数について、どのような見込みか。

■当日は10時から15時までの5時間の中で、100名を対象として開催する予定。もう少し多くの方に体験していただきたいという思いがあったが、初めての開催のため、どの程度申込みが来るかわからないということもあり100名とした。また、青年会議所から35名がスタッフとして参加する予定だが、その人数で会場の安全を確保するには100名が上限と判断した。

◎何名以上の応募があった場合に、申し込みを制限するのか。

■5月2日に各小学校にフライヤーを配布し、申込期限を26日とする。100名以上の申込があった場合には抽選とする予定である。

◎コロナ対策についてはどのように考えているか。

■当初は5月中旬に実施したいと考えていたが、昨年、一昨年の状況を見ると、その時期は感染者が増えており、6月中旬は落ち着いていたので、開催時期は6月中旬とした。また、会場については、2区画借りる予定だが、感染者が増加傾向になった場合には、3区画に増やし、ブースへの入室制限をかけることなどを検討している。

(3) 市民提案型協働事業選考審査

【事業名】千歳市民ミュージカル開催事業

< 質疑応答 >

◎前回は2020年に開催したとのことだが、それ以前は開催していないのか。

■2020年が初めての開催である。

◎恵庭市でも市民ミュージカルが行われているが、恵庭市の方が先に始めたのか。

■恵庭市の方が先に始めている。近隣では、苫小牧市、江別市、北広島市でも開催されている。

◎練習はどこで行うのか。

- 公民館などを使用する予定。全員が一同に集まって練習するのは難しいので、分散してパーツごとに練習した後に、全体で合わせるといった流れになる。
- ◎協働事業は原則2年間となっているが、前回を入れると計3回となるが、その辺は問題ないのか。
- 前回の2020年は「ひと・まちづくり助成事業」を活用して実施している。協働事業としての申請は今回が初めてであり、事業期間は2年間である。
- ◎2年間同じ内容で実施するのか。
- 基本的には1幕は前回と同様、歴史的な内容、2幕は内容をガラッと変える予定ではあるが、キャストや練習での話し合いなどによって演出が決まってしまうと思うので、現時点では、2幕の内容については未定である。
- ◎ミュージカルを通じて、千歳の歴史を知るとするのは非常に良いことだと思うので、歴史的な内容という部分は残してほしいと思う。
- 今回、新千歳市史を編集した方とも話しており、千歳の歴史を学びながら、ミュージカルの時代構成も間違いがないよう気を付けている。
- ◎ミュージカルという響きは非常にいいので、出演の応募も多くなるのではないかと。
- 「舞台」というよりも、「ミュージカル」という方がうけはいいかもしれない。今の子供たちはダンスをするので、体で表現するのが得意な方が多いと思う。
- ◎多くの方に観てもらいたいと思うが、チケット販売はどのようにするのか。
- これから市とも協議をしていくが、ミナクルなど多くの場所でチケットを扱えるようにしたいと考えている。
- ◎多くの子供たちに観てもらえるよう、教育委員会などに協力を依頼してはどうか。
- 学校への周知はしていきたいと考えている。
- ◎前回観られた方々の評価は非常に高かったので、今回も期待している。
- 前は多くの方に観ていただいたが、チケットが完売したため観られない方もいたので、今回は公演回数を1回増やして3回にした。
- ◎観客数はどのように見込んでいるか。
- コロナの状況によって変わってくると思うが、8割くらいの席が埋まり、3回の公演で1,000人を超えるのではないかと考えている。
- ◎3回の公演内容はすべて違うのか。
- 3回とも同じ内容である。

(4) その他

次回推進会議は、5月17日(火)を予定